

香港の雑誌記者が兵庫県を取材 ～竹田城、砥峰高原、出石、灘のけんか祭り～

香港で週10万部の発行部数を誇る雑誌のWEEKEND WEEKLY Magazineの記者とカメラマンの2名が来県し、10月10日～15日、県内各地を取材して回りました。記者達は、神戸や姫路城など既に香港人の間でもおなじみとなっている名所だけではなく、今回は新しい観光スポットを紹介したいとの希望だったことから、但馬、播磨地方を訪問しました。

兵庫県香港経済交流事務所から連絡を受けたHIAでは、彼らが希望した竹田城、砥峰高原、出石町、灘のけんか祭りでの取材を現地自治体とともに支援しました。



但馬地域での取材

11日早朝、早速向かったのは「東洋のマチュピチュ」と言われる竹田城（朝来市）。この日はあいにく雨でしたが、その翌12日にも再び立雲峡へと向かい、雲海に浮かぶ竹田城という絶景の写真を撮影することができ大喜びでした。さらに午後からは村上春樹氏の代表作「ノルウェーの森」の撮影が行われた砥峰高原にも足を延ばしました。村上春樹氏は香港でも大変な人気を誇っていることから、砥峰高原は記者がどうしても訪れたかった場所だったとのこと。朝来市内での夕食は、朝来市のご好意で但馬牛を味わい、「口の中でとろけるような味わいだ」と絶賛。

12日は出石町を訪問。歴史あふれる街並みを散策し、名物の「出石そば」に舌鼓を打ちました。記者によるとこれまで日本で食べたそばの中で一番おいしいと思ったとのこと。

神戸など阪神地域しか知らなかった記者たちは、今回の取材を通じて、兵庫県の風土、食のバラエティの豊かさに感銘を受けた様子でした。また取材に同行するなど手厚いサポートをしてくださった朝来市、神河町、出石観光協会の皆様に大変感謝していました。

灘のけんか祭りを取材

14日、15日は姫路市松原八幡神社の「灘のけんか祭り」を訪れました。姫路市コンベンションビューローの協力もあり、予定を延長して宵宮、本祭の両日取材しました。

14日は10月とは思えない暑い1日となりましたが、祭りの勇壮さ、屋台の豪華絢爛さ、参加する人々の熱気に心打たれ、練り合わせの際には迫ってくる屋台を恐れることなく、カメラマンは前に出て大興奮で盛んにシャッターを切っていました。



記者は祭りに参加する人々にインタビューを敢行。「生まれてからずっと参加している」と語る60歳の男性が語る地域の伝統を皆で守っている姿や、長年神輿を担いでできたこぶを見せてくれた男性の話にひたすら感心していました。

※詳細についてのお問い合わせは

(公財)兵庫県国際交流協会 企画広報課

TEL 078-230-3267 まで